

19. 高知女子大学看護学会

高知女子大学看護学会は、看護学の進歩発展と、地域の看護職者の研鑽および看護の質向上に貢献することを目的として、看護学会の開催、公開講座の開催、高知女子大学看護学会誌の発行、奨学金の貸与などの活動を行っている。本学会の運営委員の約半数は、本学部の教員が引き受けており、学外のような現場で活躍している運営委員とともに活動に取り組んでいる。また、運営委員以外の学部の教員からも多くの協力を得て、これらの諸活動をスムーズに展開することができている。

1) 第 46 回高知女子大学看護学会の開催

令和 2 年 7 月 18 日、昨年度に引き続き『人生百年時代の看護の SHIFT (シフト)』をテーマに実施を予定していた第 46 回高知女子大学看護学会は、COVID-19 の蔓延防止と参加者の安全と健康を第一に考え中止した。第 46 回のテーマや内容は来年度 47 回学会に引き継ぎ、若干の修正を加えて実施する予定である。また、COVID-19 がなかなか収束しない状況を鑑み、開催方法についても、遠隔と対面を組み合わせたハイブリッド方式など検討していく。

2) 高知女子大学看護学会誌の発行

学会誌を 2 巻発行した。詳細は以下の通りである。

- ・高知女子大学看護学会誌 第 45 巻 2 号：令和 2 年 6 月発行
原著論文 8 編、総説 2 編、研究報告 3 編、文献検討 1 編、令和元年度高知女子大学公開講座報告
- ・高知女子大学看護学会誌 第 46 巻 1 号：令和 2 年 12 月発行
原著論文 5 編、総説 1 編、研究報告 5 編、令和 2 年度高知女子大学看護学会総会報告

3) 2020 年度 高知女子大学看護学会「公開講座」について

高知県立大学と共催で実施する 2020 年度の公開講座も COVID-19 の蔓延防止と参加者の安全と健康を第一に考え中止した。県外からの参加者も多いこと、また、「実践的に研究方法を学ぶ」という趣旨に則り、講義方法としてグループワークやディスカッションなどを多く取り入れており、遠隔での実施も難しいと考えられたことが理由である。2021 年度については、遠隔での実施を考慮し、講師とも講義方法について相談しながら実施を検討していきたいと考えている。

4) 奨学金の貸与

2020 年度は奨学金への応募者は 0 名であった。広く学会員に奨学金について知ってもらえるよう広報等につとめる。